

代表質問



事業仕分けの結果等を踏まえた予算編成を行いました
(昨年行われた事業仕分けの様子)

政友会 藤田 紀夫 議員

平成25年度予算について

質問(政友会・藤田紀夫議員)

予算編成の考え方、配慮した点は何か伺います。

答弁(市長)

我が国の経済情勢は、好転の兆しが一部に見え始めたとはいえ、厳しい状況が続く中での予算編成となりました。平成25年度の予算編成については、引き続き私の掲げる「すべては、子どもたちの未来のために」、「高齢者・障害者が生きがいを持ち安心して暮らせる街づくり」などのマニフェストの早期実現を目

指すことを基本としています。

さらに、国における緊急経済対策等予算編成の具体的な動向を注視しながら、第2期大田原市財政健全化計画、事業仕分けの結果等を踏まえて、徹底した行財政改革により、持続可能な財政構造を構築するとともに、大田原市政刷新に向けた新たな飛躍へつながる取り組みを着実に推進し、高度化、多様化する市民ニーズに適正に対処していきます。

歳出面では、選択と集中によ

り、限られた財源の重点的、効率的な配分に努め、経常的経費の節減に努め、定員適正化計画に基づく人件費の抑制や事務事業の見直しに努めました。

歳入面では、市税の徴収率の向上に努め、国、県補助金の適切な導入、また、地方交付税措置のある合併特例債を最大限に活用した予算編成をしました。

政策面では、協働互敬のまちづくりに取り組み、新たにスクールソーシャルワーカーの配置事業、デマンドバス運行事業及び那須地域消防広域化の推進等、箱から人への政策実現のため、重点的、戦略的に推進をしていきます。

政友会 藤田 紀夫 議員

産業振興策について

質問(政友会・藤田紀夫議員)

市長のマニフェストにある産業振興策大田原ブランドについて伺います。

答弁(市長)

地域ブランドについては、地域経済を持続的に活性化させるために、全国各地で取り組みが行われています。大田原市の独自性、魅力を発信するため、大田原ブランドを構築し、地域のよさを生かしたブランド商品をどのような形でつくり上げ、その後どのようにPR活動をしていくかが重要で

あると考えています。

まず、ブランドのイメージキャラクターには、全国ゆるキャラ大会で、昨々が4位、今年が13位になりましたと与一くんを活用し、ブランドのイメージアップを図りたいと思っています。

素材についても、大田原市観光協会において、平成10年より観光事業振興を目的に、市内で生産、加工、販売される優良農産品を推奨する優良観光土産品推奨の71品目からの活用、また大田原商店連名が中心となります大田原一

店逸品運動実行委員会によりまず大田原一店逸品運動の商品、大田原とうがらしの郷づくりの推進協議会によりまず商品開発、産学官連携によりまずウドを活用した地元農家と連携した商品化、また6次産業支援事業によりまず商品開発などが進んでおり、大田原市のブランドとなる素材は数多く出てきている状況であります。そのため、今後、大田原ブランド推進協議会運営要綱を制定して、ブランド認定基準や認定方法について関係団体と連携をして、大田原ブランドとして推進及びPRをしたいと考えています。



優良観光土産品を示す推奨品シール